



大口城を愛する会

伊佐の古城を桜の新名所に



大口城は大口小学校の裏山に位置し、かつて戦国武将・新納忠元公も城主を務めた歴史ある山城です。しかし、年月とともに雑木や竹に覆われて荒地地となっていました。そんな由緒ある場所を「桜の名所」として甦らそうとボランティアで活動されているのが「大口城を愛する会」のみなさんです。

活動のきっかけは、大口城の歴史調査でした。会長の新東晃一さん（写真前列左端）は、県職員として県埋蔵文化財センター次長などを歴任され、定年退職後に豊臣秀吉の薩摩征伐の足跡を辿る研究をされています。新東さんは「秀吉は薩摩の山城攻略にとても苦戦したことがわかっていま

す。大口城跡を測量して、学術的見地から薩摩山城の防衛の秘密を解き明かしたいです」とにこやかに話しました。

しかし、雑木や密竹が生い茂る土地での調査は容易ではなく、伐採と測量を繰り返すとても大変な作業です。さら



▲作業の様子

に、せっかく整地した場所もしばらくすれば草木が生い茂り、すぐに藪になってしまします。「大口城の調査が終わっても、再び放置されることなく、市民に親しまれる憩いの場所として後世に残すことはできないか」と会員で話し合い、桜の植樹をはじめました。桜木のオーナーを募り、現在までに369本の苗木を植樹。3月7日に開催予定の第3回植樹祭では、さらに150本を植樹するそうです。

2016年から開始した伐採・測量作業はなんと200回を超え、延1500人の歴史愛好家が参加しています。「高齢だから、ぼちぼち休憩しながらだよ」とみなさん謙遜

されますが、その活き活きとした表情には充実感が溢れています。埋もれていた歴史とともに本来の姿を現した大口城跡で、春を楽しめる日が待ち遠しいです。



▲調査の結果、当時の大口城の姿が明らかになっています

第3回植樹祭 桜木オーナー募集 予約制

日時：3月7日（日）10時

料金：一口2,000円

※植樹祭受付でお支払い

申込・問い合わせ先

大口城を愛する会事務局：福島

☎ 090・8666・0703



石井 真羽 (曾木小1年)



益園 太晴 (大口東小3年)



坂野 真優
(田中小4年)



江口 亜美
(大口明光学園中2年)



福元 美咲
(曾木小6年)



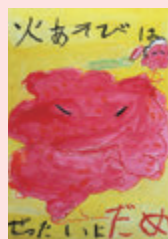
丸山 瑚雛
(大口中央中3年)

防火ポスターコンクール

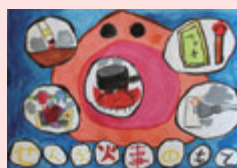
春季全国火災予防運動の一環で伊佐湧水消防組合が募集した「防火ポスターコンクール」に166作品の応募がありました。入賞者は次のみなさんです(順不同・敬称略)。



益園 太進
(大口東小1年)



吉加江 湧真
(大口小2年)



柏原 律紀
(本城小3年)



前原 伊吹
(菱刈小4年)



堀之内 芽衣
(大口小5年)



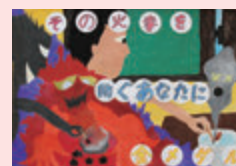
原田 志聞
(曾木小6年)



高見 京伽
(大口中央中1年)



四浦 未央
(大口明光学園中2年)



伊藤 凜音
(大口中央中3年)



成政 蓮翔 (大口東小1年)	湯之上 ひなた (大口小4年)	重久 真希 (大口明光学園中1年)
熊ヶ迫 海杜 (山野小1年)	向江 愛美 (牛尾小5年)	豎山 はりる (大口中央中1年)
湯之上 仁誠 (大口小2年)	小野 綸子 (平出水小5年)	尾口 絢菜 (大口中央中2年)
橋本 依奈 (平出水小3年)	芝原 花 (大口小6年)	富田 心優 (大口中央中2年)
工藤 千聖 (山野小3年)	宮ノ原 沙良 (大口小6年)	田口 明日菜 (大口中央中3年)



堀之内 治音 (牛尾小1年)	横山 颯祐 (田中小3年)	中渡 南翔 (牛尾小6年)
地福 翔 (平出水小1年)	田辺 瑚心実 (菱刈小4年)	竹内 絢那 (山野小6年)
池町 早耶果 (平出水小1年)	柏原 優羽 (本城小4年)	井手口 結来 (大口明光学園中1年)
須川 葵 (羽月小2年)	竹下 優華 (本城小4年)	戸破 美禮 (大口明光学園中1年)
小迫 優晴 (平出水小2年)	古田 朱莉 (大口小5年)	伊藤 蓮二 (大口中央中1年)
深田 竜矢 (菱刈小2年)	村山 雫 (大口小5年)	横山 愛実 (大口明光学園中2年)
松本 湊介 (大口小3年)	迫田 詩音 (田中小6年)	岩切 煌世 (大口中央中2年)

問い合わせ先 伊佐湧水消防組合消防本部予防課予防係 ☎0119